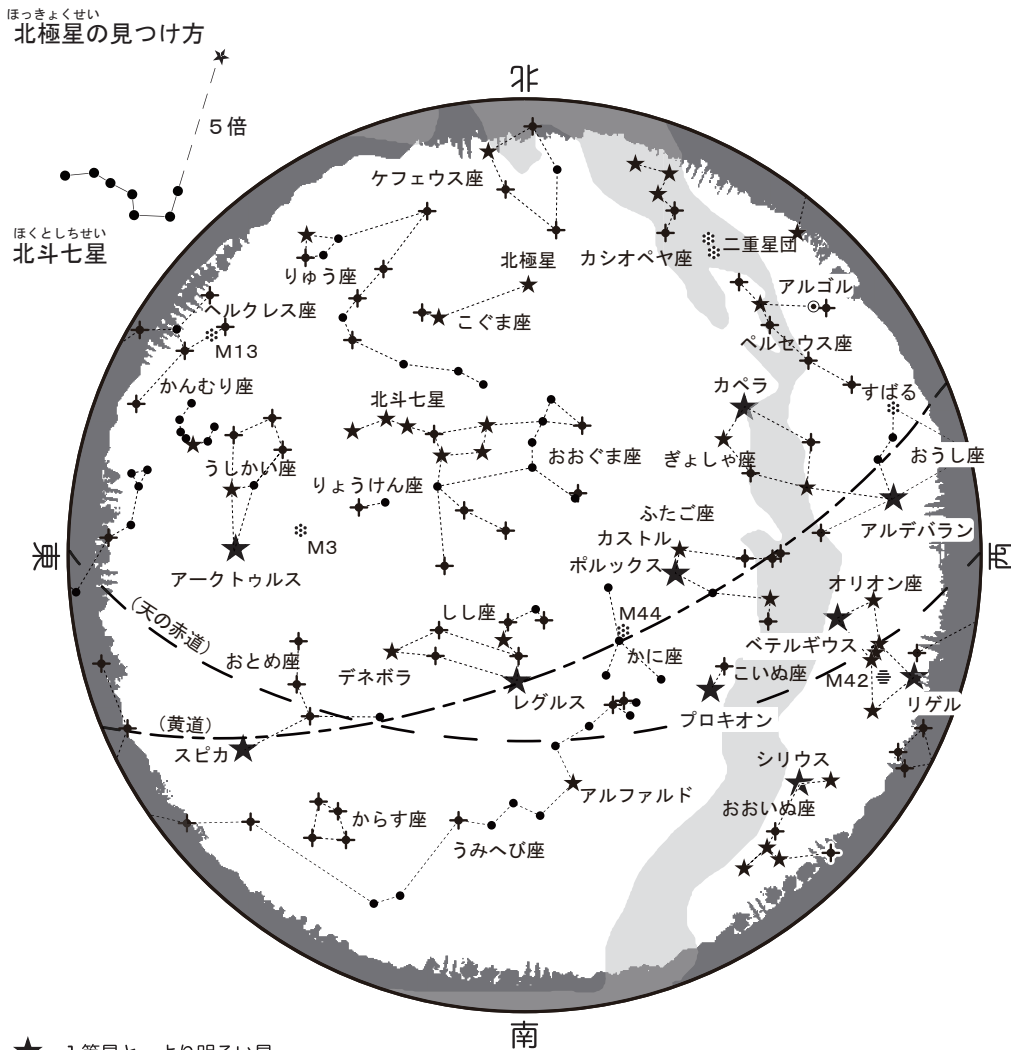


富山で見える 2022年4月の星空

自分の見たい方角を下にして、その方角の空を見よう。



ほっきょくせい
北極星の見つけ方

5倍

ほくとしちせい
北斗七星

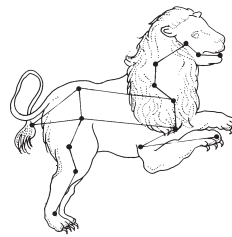
海

陸

- ★ 1等星と、より明るい星
- ☆ 2等星
- ✦ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ⊛ 星団
- ☁ 星雲
- ☾ 銀河

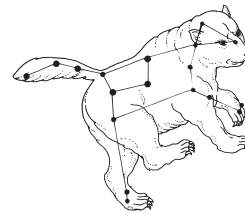
～月のようす～

～この星空が見えるのは～		4月 1日 新月 ●	
4月 5日	21時ころ	4月 9日	上弦 ◐
4月 20日	20時ころ	4月 17日	満月 ○
5月 5日	19時ころ	4月 23日	下弦 ◑



しし座

しし座は、胸に輝く1等星のレグルスが目印です。そのレグルスの上の「？」マークを左右裏返しにしたような星の並びを「ししの大鎌」といい、しし座の頭にあたります。しっぽの2等星デネボラなど星たちをつなぐと今にもジャンプしそうな姿を星空に作るすることができます。



おおぐま座

北極星を探す目印として有名な、ひしゃくの形の「北斗七星」がある星座です。北斗七星は、おおぐまの背中からしっぽの部分になります。ひしゃくの柄の端から2番目の星は、ミザールとアルコルという、目がよい人は肉眼でも分かる二重星です。



うしかい座

とても明るく輝くオレンジ色の星アークトゥルスが目印の星座です。この星の明るさは0等星で、「熊の番人」という意味があります。日本では「麦星」と呼んでいたところもあります。隣のりょうけん座は、この牛飼いの飼っている犬です。



おとめ座

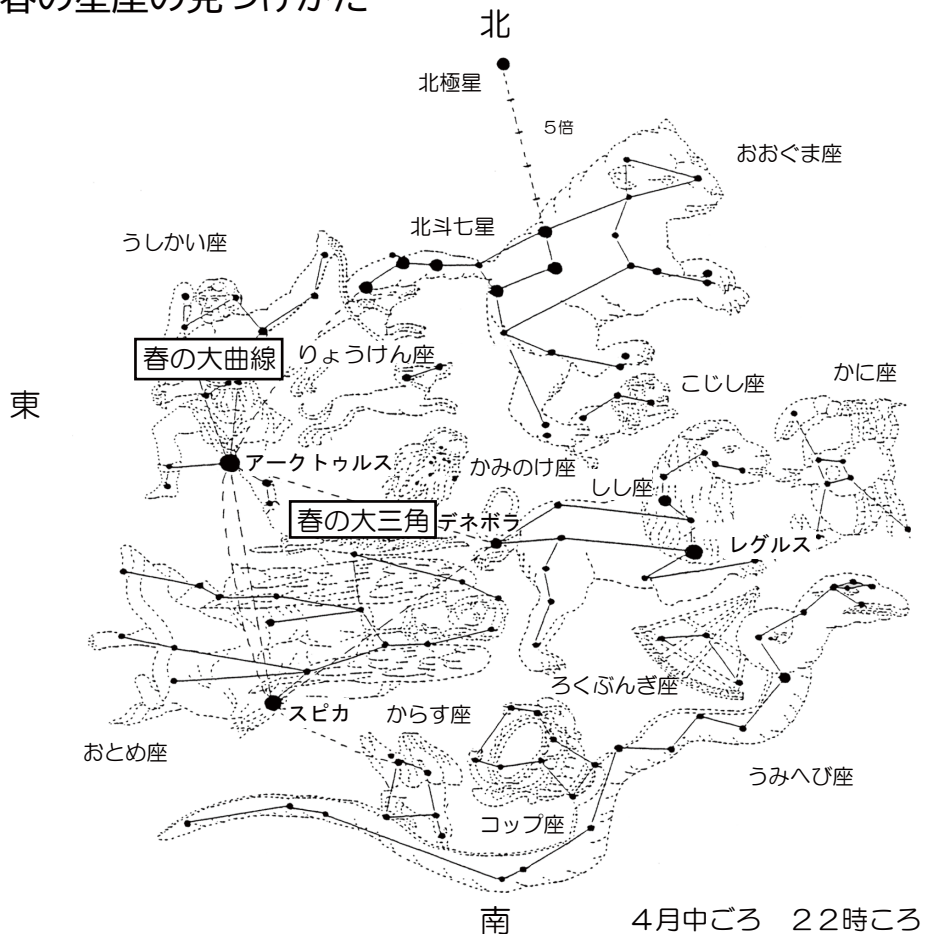
青白く輝く1等星のスピカがある星座です。この星座は農業の女神デーメーテルの姿とも言われ、左手に麦の穂を持っています。そこに輝いているのがスピカで、とがった麦の穂の先という意味があります。



うみへび座

かに座の南に頭があり、暗い星を東へずっとたどって長いヘビの形を作ります。88個の星座の中で最も大きな星座で、神話では英雄ヘラクレスに退治された怪物ヒドラです。うみへび座の背中には、からす座が乗っています。

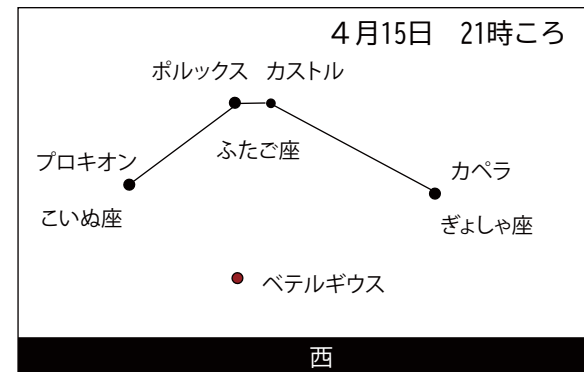
せいざ 春の星座の見つけかた



- 1 北の空で、北斗七星を見つけます。
- 2 北斗七星の柄のカーブを伸ばし、うしかい座のアルクトゥルス、おとめ座のスピカ、からす座と続く「春の大曲線」を見つけます。
- 3 アルクトゥルス、スピカ、しし座のデネボラでつくる「春の大三角」を見つけます。
- 4 しし座の頭から胸にかけての星を結んでできる、「？」を左右裏返しにした星の並びの、一番下で輝く星がレグルスです。
- 5 星座の中でもっとも大きいうみへび座、2番目に大きいおとめ座、3番目に大きいおおぐま座を見つけることができると楽しいですね。

西の空の二つ星

4月の夕方の西の空では、横に2つ並んで輝く星が目を引きま^すす。ふたご座のポルックスとカストルです。その右斜め下には、ぎよしゃ座のカペラ、左斜め下には、こいぬ座のプロキオンがあり、山のような形をつくっています。たいへん見つけやすいので、探してみてください。



火星と土星が大接近！

4月上旬には、火星と土星が接近して見られるようになります。最も近づいて見えるのは4月5日の明け方で、2つの惑星の見かけの間隔は、満月の中に2つの惑星がすっぽりと入る程の距離です。この時、火星の明るさは1.0等、土星の明るさは0.8等と、土星の方が少し明るいだけで、その差はわずかです。惑星同士の接近では、明るさに差がかなりある場合が多いのですが、今回はほとんど同じ明るさの惑星同士が並んで見えることになります。黄色っぽく見える土星に対して、火星は赤みを帯びた色に見えますので、色の対比も楽しめます。また、近くには火星と土星よりも明るい明けの明星(金星)も見えていますよ。

